



- 1 市内をパレードする牛久市消防団の車両
- 2 大好評のはしご車搭乗体験。市内在住の男児は「楽しかった。また乗りたい」と大満足
- 3 市の防災アドバイザーでもある山村武彦氏による講演会

うしく安全・安心ワールド2015 犯罪や災害から大切なのちを守るために

2月28日、市中央生涯学習センターで「うしく安全・安心ワールド2015」が開催されました。

平成10年度から通算して17回目となる今回は、「犯罪や災害から大切なのちを守るために」をテーマに、消防車両パレードや講演などが行われました。

今回初めて実施された消防車両パレードでは、日頃、地域の防災活動を担う牛久市消防団および牛久消防署車両計34台が、市中央生涯学習センターを出発し、市内をパレードしました。池辺勝幸市長は「地域で密着した防災活動をしている牛久市消防団の各分団が、今回パレードを行うことで、より一層地域の皆さんにご理解とご協力が得られるようになればと思います」と挨拶。

パレードを見に来た興梠秀雄・茂野さん夫妻は「今回はパレードを楽しみに来たので、感動しました。地域の防災を守る消防団がこんなにいるので頼もしく思います」

す」と話していました。

また、同センター文化ホールで行われた「第1部」の山村武彦氏の講演会では「災害時は、自治体の手助けも間に合わないことがあります。自分たちのまちは自分たちで守る。少子高齢社会では、自助、共助、公助の連携はもちろんですが、『近助』（近くで助け合うこと）が必要です。また、自治会（行政区）組織内に防災隣組のような仕組みも必要だと思います。これらを整えることで、安全安心のまち、うしくにしていってほしいです」と話していました。

「第2部」では、牛久第三中学校和太鼓部が和太鼓の演奏のほかに、防犯に関する寸劇も披露。防犯の大切さを面白く分かりやすく訴える寸劇に、会場からは笑い拍手が沸き起こりました。

参加者たちは、一日を通し、安全・安心について考える日になりました。

つつじが丘でもちつき大会



子どもたちは地元の大人に教わりながら「ならせ餅」を体験

3月7日、つつじが丘区民会館で「つつじが丘ふれあいもちつき大会」が開催されました。

卒業する小学6年生と新入学1年生のお祝いと住民同士のふれあいを目的に、今年で7回目となったこの餅つき。自宅で餅つきをすることがなくなった昨今、近隣の大人たちや子ども、牛久第二小学校などに通う児童が杵と臼を使って餅をつきました。つきたての餅は、五穀豊穡と無病息災を願ってならせ餅にしたり、いそべ餅にしてみんなで食べました。

初めてこの行事に参加したという長栄敦さん一家は「餅つきをやる機会がないので、参加できて良かったです」と話していました。

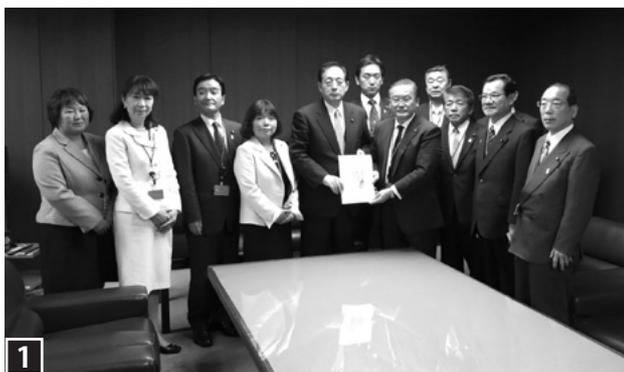
一般国道6号牛久土浦バイパスの 建設促進などを要望

2月26日、池辺勝幸牛久市長が会長を務める「牛久市・つくば市・つくばみらい市交通体系整備促進連絡協議会」の代表団は、太田昭宏国土交通大臣へ一般国道6号牛久土浦バイパスの建設促進などについて要望活動を実施し、要望書を提出しました。

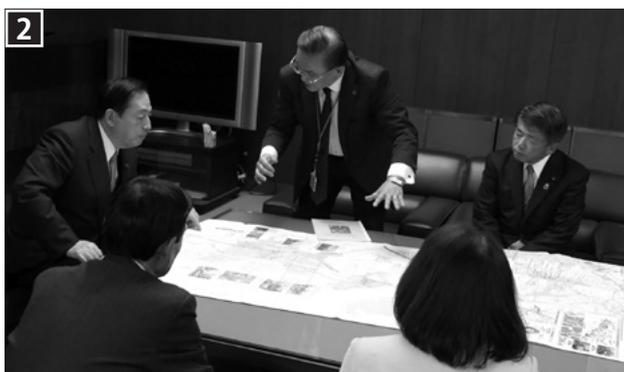
池辺市長が地域の実情や渋滞解消に向けた市の取り組みを説明。当バイパスの建設促進の強い要望

に対し、太田大臣から「しっかりとした計画も立てられているので、今後も努力して頑張ります」と回答をいただきました。

当日は、山越守牛久市議会議長をはじめ、協議会を構成する3市の議員が同行したほか、山岡恒夫茨城県議会副議長もオブザーバーとして同行し、太田大臣に対し地域全体で強く望んでいることを訴えました。



1



1 要望書を直接手渡す池辺市長(写真中央)
2 太田国交相(写真左)への陳情。写真右は山岡県議会議長

地域の大人が 園児の衣装を手作り

2月25日、向台小学校区地区社会福祉協議会(小野寺治子代表)が向台小学校内にある牛久ふれあい保育園の園児たちの衣装約80着を手作りで完成させました。

この衣装は、牛久ふれあい保育園の園児が3月のおゆうぎの発表会で着るもので、向台小学校区地区社会福祉協議会のメンバー15人が衣装の型取りや縫製まで約1カ月かけて製作しました。

小野寺代表は「今まで保育園の保育士さんが苦労して衣装を作っていたということで、今回、向台小学校区地区社会福祉協議会のメンバーで衣装を製作させていただきました。縫いづらい生地などもあり苦労しましたが、皆で協力して楽しく仕上げさせていただきました。保育園のお役に立てたなら幸いです」と話していました。

ふれあい保育園の園児たちは贈られた衣装を着て、市中央生涯学習センターでのおゆうぎの発表会に参加しました。



1



2



3

1 完成した手作りの衣装およそ80着
2 衣装を製作した向台小学校区地区社会福祉協議会の皆さん
3 おゆうぎの発表会での園児たち。ポーズも決まって得意顔

きれいな道路を守って いきます

2月18日、牛久
市役所庁議室で
「茨城県道路里親
制度協定書調印式



及び認定証交付式」が行われました。この制度は、地域住民や団体などが「道路の里親」となり、茨城県と市町村などを協定を取り交わし、道路の美化活動や地域にふさわしい道づくりをするものです。今回は「かみや緑の里親元気クラブ」（小松崎英雄会長）が牛久駅前東側の「けやき通り」の里親になる協定書を牛久市と竜ヶ崎工事事務所と取り交わしました。



小松崎さんは「花植えなどの活動を始めて約1年半になります。会員も増え、活動を通して会員同士のコミュニケーションが図れるようになりました。地域の絆づくりが駅前から徐々に広がればいいと思います」と話しました。

交通安全の向上に感謝状



積水樹脂株式会社浦つくば工場つくば製造所
(写真右)に手渡された感謝状

3月4日、積水樹脂株式会社浦つくば工場つくば製造所(桂町)に対し、池辺勝幸市長から感謝状が渡されました。同社は平成26年度に、市内の危険な交差点の速度抑制対策として、自社製品の立体減速表示(左写真)を無償設置することで、市民の交通安全の向上に貢献しました。この路面表示は立体的にドライバーの視覚に訴えることで、車両の減速効果や注意喚起効果もあることが確認されています。

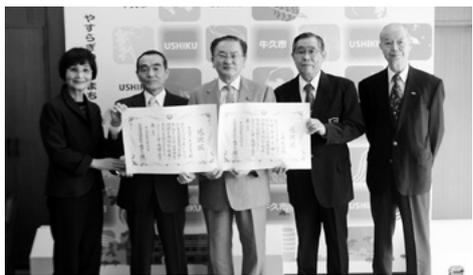


県民健康づくり表彰式

2月16日、茨城県庁で地域などで健康づくりに貢献した個人や団体を表彰する「平成26年度県民健康づくり表彰式」が行われました。当市でも個人で小林延行さんが、団体で「牛久ウオーキングクラブ」(飯塚幸雄会長)がそれぞれ部長賞の表彰を受けました。

3月4日、小林さんと「牛久ウオーキングクラブ」のメンバーが市役所を表敬訪問(左写真)。同クラブ会長の飯塚さんは「メンバー一丸となつて、市の健康づくりに協力させていただいており、5月16日に市で行う『牛久健康ウォーク』では多くの方に参加してもらいたい」と話していました。また、小林さんは

「皆さんの健康を願つてウオーキング普及を図ってきたので表彰を受けて嬉しい」と話しました。



新たにシルバーハビリ 体操3級指導士が誕生

「シルバーハビリ体操3級指導士養成講習会」の修了式が3月2日に行われ、新たに3級指導士が誕生しました。

「シルバーハビリ体操」は、平成16年に茨城県で考案された介護予防を目的とした体操です。今回の

修了生を加えた約70人の指導士は介護予防を推進するための重要な担い手として活動していきます。

シルバーハビリ体操の実施日程は毎月回覧の「支援センター便り」に掲載しています。地域で指導士が真心こめて対応していますので、ぜひご参加ください。



お父さんと料理体験

2月21日、市保健センター栄養実習室で「お父さんといっしょパバといっしょにクッキング」が行われ、お父さんと子ども10組が参加しました(写真左)。

当日、子どもたちはお父さんと一緒にタコライス、けんちん汁、レンコンと豆のサラダ、アップルパイを調理。参加した由利穂波さん(小学2年生)は「普段はお母さんのお手伝いをするけれど、お父さんと一緒に料理をするのは初めて」、小松崎理子さん(小学3年生)と参加した父親の泰典さんは「初めてこういった企画に参加しました。一緒に料理をしたことがなかったので、集団の中での娘の様子も知れて、とても貴重な時間になりました」と話していました。



県下全市町村が協力！プロモーションビデオ撮影



スタッフから振り付けを習い、参加者たちは本番で完璧なダンスを披露

2月18日、ひたち野リフレのリフレプラザで、茨城県のインターネットテレビ「いばキラTV」のテーマソング「はじまりのひかり」のプロモーションビデオの収録が行われました。

牛久市からも、ボランティアで集まった11人がダンスの撮影に協力。かつばのキューちゃん縫いぐるみや大仏のお面を被ったダンサーも参加して、牛久らしさをアピールしながら、楽しい雰囲気の中で踊りました。この映像は、既に公開されていますので「いばキラはじまりのひかり」で検索してご覧ください。

市内高校に海外渡航奨励費

2月13日、牛久市国際交流協会から市内3つの高校に対して、市内高等学校海外渡航奨励費が渡されました。この奨励費は、市内の高校が生徒を海外に派遣する費用の一助となるよう交付しています。

牛久高校はカナダのサレー市、牛久栄進高校はアメリカのソルトレイク市、東洋大学附属牛久高校はオーストラリアのオレンジ市へ渡航するため、その報告も兼ねて訪問。生徒代表らは「頂いた奨励費への感謝の気持ちを忘れずに、国際理解を深めるためにしっかりと研修していきたい」と語りました。



海外渡航奨励費を手に、海外研修での意気込みを語った市内3高校の生徒代表と学校関係者ら

障がい者の福祉計画作成



牛久市障害者自立支援協議会の秦靖枝会長(写真右から3人目)から手渡された計画書

3月10日、牛久市障害者自立支援協議会の秦靖枝会長から池辺勝幸市長へ「牛久市第3次障がい者プラン・第4期障がい福祉計画(案)」が手渡されました。

この計画は「障がいのある人もない人も、その人らしく、だれもが安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として作成されました。市では、毎年度計画の取りまとめを行って、牛久市障害者自立支援協議会に報告し、その評価を受けるとともに、利用者のニーズや実状に合わせた検討を行っていきます。

第9回小川芋銭検定

合格者表彰式

2月20日、小川芋銭検定委員会会長の染谷郁夫教育長から「第9回小川芋銭検定」の合格者、今井愛子さんと五十嵐光花さんに表彰状と記念品が渡されました。これまで300人以上の方が受験してきた小川芋銭検定。難関の特別級合格者は今井さんで3人目。

今井さんは「4回目のチャレンジで特別級に合格出来ました。今後も自分なりにコツコツ努力して勉強したい」と喜びを語りました。また、中学2年生で上級に合格した五十嵐さんは「今後最上級にもチャレンジしていきたい」と語りました。



今井さん(写真右)と五十嵐さん(写真左)

NBC災害対応訓練を実施



化学防護服を着て訓練を行う救助隊

平成26年12月8日、市中央学習センターの協力を得て、牛久消防署救助隊と龍ヶ崎消防署高度救助隊が合同で特殊災害(NBC)対応訓練を実施しました。

建物内で原因不明のガスが発生し、建物内部に取り残された要救助者がいるとの内容で、配備されている化学防護服を着装し救出訓練をしました。

救助隊は、あらゆる災害に対応し、市民の安全を守るため日々訓練を重ねレベルアップを図っています。



短歌・俳句・川柳

一村をいっそん一色ひといろにして桃の花

田宮 高階さん

雛あられ慌てゝ拾ふ園児たち

小坂町 塚本さん

入園式おつむにひらり桜花びら

栄町 こよばあば

ランドセル桜舞い散る通学路

神谷 山崎さん

すみれ花ひっそり咲えて我れを呼ぶ

刈谷町 小山さん

チ・チ・チ・ケキヨ

たどたどしきは初音かな

南 堀さん

野に出でてフキノトウ摘む老爺あり

手かごいっぱい 笑顔いっぱい

小坂町 高橋さん

朝顔に好きな色あり「団十郎」

庭の籬まがきに絡み増えたり

岡見町 根本良子さん

久びさのプラットホームに降りたれば

故郷の香り我が身をつつむ

神谷 岡本さん

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。紙面の都合上、全てを掲載できない場合がありますが、今後もお便りをお待ちしています。

【あて先】 〒300-1292 牛久市中央3-15-1「広報うしくちよつと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp